



医療センターだより

よしぶえ

NEWS LETTER

No.27



2019年10月発行

## 基本理念

多くの人々との出会いを通じて、新しい医療環境の創造に努めます。

## 5つの基本方針

- 1 地域の視点に立った信頼される医療を目指します。
- 2 安全性が保障された質の高い医療を追究します。
- 3 地域の医療機関や福祉・介護施設との連携を進めます。
- 4 活気に溢れ、誇りを生み出す組織風土を醸成します。
- 5 公営企業として、経営の健全化に努めます。



## 掲載項目

- ① 表紙《夏休みKids病院探検ツアー》
- ② 新生児回復室(GCU)が開設されます！、こんにちは赤ちゃん
- ③ 市民公開講座を開催しました！
- ④ ボランティアさんのご紹介
- ⑤ 患者総合支援課通信
- ⑥ 「令和元年度看護師国家試験対策セミナー」を開催しました！



# 新生児回復室(GCU)が開設されます！

GCUイメージ



当院は地域周産期母子医療センターとして、東近江圏域を中心とした新生児の医療を担っています。2014年5月にNICU(新生児集中治療室)が開設され5年経ちました。NICU開設後より、入院する新生児の数は年々増加しています(図1)。

NICUでは治療を受け、状態が落ち着けば、退院にむけた準備をご家族とともに進めていますが、入院する新生児の増加により、入院を受け入れるベッドの数が足りない状態が続いているのが現状です。そこで、NICUで救命を必要とする新生児の入院を受け入れるために新生児回復室(GCU)を開設します。GCUとは回復期にある新生児の育児指導や、退院後に必要となる医療的ケアの指導などを中心に行う病棟です。

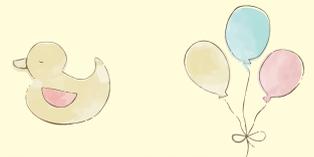
NICUとGCUの機能を分化させることにより、個々の新生児とご家族にとって最善のケアを提供でき、安心して退院が迎えられるように努めていきます。



図1

## こんにちは赤ちゃん

当院で生まれた赤ちゃんを紹介します！



がく  
岳来ちゃん



2019年7月23日生まれ/3314g

### ママからひとこと

岳来ちゃんはパパとママのたからものです。しあわせをとどけてくれてありがとう。

せいな  
惺菜ちゃん



2019年7月23日生まれ/2676g

### ママからひとこと

お姉ちゃんと元気に仲良くあそぼうね。

●保護者の方から掲載希望をいただいた赤ちゃんを掲載しております。

# 市民公開講座を開催しました！

## 健康いきいき公開講座

令和元年7月6日（土）、当院よしぶえホールにて「第9回健康いきいき公開講座」を開催しました。本講座は、世界禁煙デー（毎年5月31日）、日本禁煙週間（毎年5月31日～6月6日）にちなんで毎年開催しており、喫煙者の方には禁煙に踏み出す機会を提供し、非喫煙者の方々の受動喫煙被害ゼロを目指す風土を醸成することを目的としています。

第1部では健康啓発講演会を開催し、6人の演者がそれぞれの専門的見地から受動喫煙被害や禁煙の重要性についてお伝えしました。

第2部では肺機能検査や呼気中CO測定、骨密度検査を実施し、自分たちの体の健康状態について理解していただきました。

当院では禁煙外来を実施しています。「禁煙したい！」「家族に禁煙をすすめたい！」と思われる方はぜひ当院の禁煙外来をご受診ください。

（事前予約制、予約専用電話 0748-31-1267）



## 夏休みKids病院探検ツアー

令和元年7月28日（日）、心臓血管外科主催の「第4回夏休みKids病院探検ツアー」を開催しました。小学校5年生～高校生を対象としたイベントで、子どもたちに病院や医療を身近に感じていただき、興味を抱いてもらうことを目的としています。

午前中は「病院を見学しよう！」をテーマに、手術室や検査室、リハビリ室など普段見られない所を見学していただきました。それぞれの場所で説明を受け、体験することで、病院で働く様々な職種の理解していただきました。

午後からは「オペ体験をしよう！」をテーマに、医師と一緒にぶたの心臓を使って、心臓手術体験をしました。最初は戸惑っていた子どもたちも、スタッフと一緒に体験することでだんだんと慣れていき、楽しみながら手術を行うことができました。



# 院内・院外で活躍している ボランティアさんをご紹介します!(Vol.2)

いつもありがとう  
ございます!

当院では様々な場面でボランティアさんが活躍しています。今回は八美会さんにお話を伺い、その活動内容やこれからの抱負をお聞きしました。

## 活動内容

八美会は来年50周年を迎えます。現在の活動会員は40名、60代から90代の幅広い年齢層です。絵を描くことを趣味とした仲間が月に2回集まり絵画を楽しんでいます。当センターでは平成20年2月より、2階吹き抜けの廊下に展示を始めました。3ヶ月に1度展示替えを行い今回で47回になりました。なじみのある風景や身近な物を主体にし、少しでも心の安らぎを感じてもらいたいという思いで展示しています。



代表：鶴房健蔵

活動日時：第1, 3木曜日 10時~15時

場所：西の湖すてーしょんを中心に屋外での写生、バス旅行など文化会館で春と秋に日頃の作品の展覧会を開催しています。是非ご覧下さい。



貼り替え作業中

患者さんだけでなく  
職員の癒やしの場所  
となっています。



茂森先生と一緒に

## 今後の抱負

- 誘われて入会しました。最初はあまり乗り気ではありませんでしたが参加してみると、楽しくて楽しくて毎回欠かさず参加しています。これからも続けたいと思っています。
- 八美会の活動は生活の支え元気の源です。楽しみながら長く続けていきたい。
- 色々な年齢層の方と関わることで若さと元気をもらっています。生涯現役で頑張りたいです。
- 入院中も病床で絵を描いていました。命がある限り描き続けていきたいです。
- この活動を続けることで八美会を多くの人に知ってもらい会員を増やしたいと思います。



# 患者総合支援課通信

## 日頃からあなたのことをよく知る開業医『かかりつけ医』を持ちましょう

当医療センターでは「かかりつけ医」制度を推奨しています。

### 「かかりつけ医」とは・・・

日常的な診察や健康管理等を行ってくれる身近なお医者さんのことを「かかりつけ医」と呼んでいます。あなたのことをよく知っていて、必要なとき専門医に紹介していただける「かかりつけ医」を持つことを推奨しています。

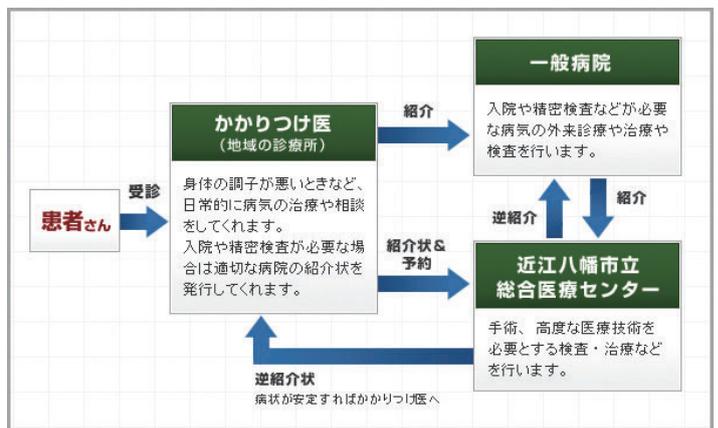
### 近江八幡市立総合医療センターと「かかりつけ医」の役割・・・

全国的な医師・看護師不足や高齢化社会の進展で国民の医療費が増加する中、地域医療を担っていくためには、全ての診療所や病院が同じ機能を持つのではなく、診療所や病院がそれぞれの機能分担を行うことが最重要になっています。

当医療センターでは、東近江医療圏における基幹病院として、高度医療・急性期医療を担っています。

そのため、普段は地域の診療所「かかりつけ医」に受診していただき、専門的な医療や救急医療など、必要に応じて診療所からのご紹介で当医療センターを受診していただく病診連携を進めています。

つまり、日頃の診療は身近な診療所がきめ細かに対応し、高度な検査や手術などが必要な時に、当医療センターが対応するということになります。



### 「かかりつけ医」を持つメリット・・・

- 患者さんや家族の体調、生活習慣、病歴などを把握されています。そのため、ちょっとした異変でも早期に発見し、病気の進行をくい止めることができます。
- 待ち時間が比較的短く、受診の手続きも簡単で、じっくり診察していただけます。
- 入院や検査、高度な治療が必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえます。
- 食事面など、日常の健康管理のアドバイスをしてもらえます。

### 当医療センターの受診に「かかりつけ医」からご紹介をいただくメリット・・・

- 病気の経過がよくわかり診断・治療を迅速に進めることができます。  
(無駄な検査の防止にもつながります)
- 紹介患者さんを優先的に受付しています。紹介状をお持ちください。  
※紹介状がない場合、当日受診いただけない場合があります。
- 健康保険による一部負担金のほかに、別途「初診にかかる選定療養費」(5,000円+消費税)のご負担がありません。

## 「令和元年度看護師国家試験対策セミナー」を開催しました！

平成22年度より近江八幡市立看護専門学校と近江八幡市立総合医療センターが協働し、看護師国家試験対策支援事業として、「看護師国家試験対策セミナー」を当センターの医師協力のもと毎年開催しています。

今年度も「令和元年度看護師国家試験セミナー」として8月1日から8月27日までの期間で計11日間14領域開催し、約130名の看護学生が参加されました。

このセミナーは、未来の医療を担う看護学生が、看護師国家試験に自信を持って臨めるよう、人材育成の一環として開催しています。

専門性の高い医師が、それぞれの専門領域に関連深い科目を担当し、学生がより解剖・生理学的基礎知識の理解を強化し、国家試験に向けての学習を深められることを目指しています。セミナーでは、循環器、消化器、呼吸器、代謝・内分泌、腎、泌尿生殖器、母性、小児、脳神経、運動器、電解質・酸塩基平衡、薬理学等1講義90分の授業で、医師が過去の看護師国家試験の問題等も解りやすく学生に解説し教えました。



授業中の風景

### 《昨年受講した学生の意見》

自己で勉強してもまとまらないから、とにかく国家試験対策に関わることは受講していました。医師の講義を受け、過去の問題を解りやすく説明してもらえたので試験に役立てることができました。見事合格でき、今年医療センターに就職して頑張っています。

### 《講師より一言》

皆さん、国試対策セミナーお疲れ様でした。この機に集中的に知識を詰めこまれた方は、さぞお疲れのことでしょう。

今回、セミナー準備のために複数年過去問を見ましたが、医療とともに国家試験も変化していると痛感しました。過去の常識は今の非常識。将来皆さんは、教科書的に正しいことが本当に患者さんのためなのか、悩まれることも多いでしょう。それは自然なことで、最適解は教科書ではなく患者さんが持っており、そこから新たな医療が生まれるのです。

国家試験は大事ですが、社会に踏み出した暁には、常識を疑ってでも患者さんのための最適解を見つけられる医療者になって下さることを願います。

### 近江八幡市立総合医療センター

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地  
TEL 0748-33-3151 FAX 0748-33-4877

**\*病院へのご意見・ご質問をお寄せください。**

発行：広報委員会

### 当センターで医療を受けられる方の権利

1. 人権が尊重され、良質で適切かつ安全な医療を、平等・公正に受けることができます。
2. 自分の受ける医療について説明を受け、検査や治療方法などを自分で選ぶことができます。
3. 診断や治療について、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 診療情報の提供、又は診療記録の開示を求めることができます。
5. 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。